

H26年度の都市整備部事業について

「府民の安全・安心の確保」に向け、南海トラフ巨大地震対策をはじめとする防災減災対策や都市インフラの戦略的維持管理を充実強化すると共に、

「大阪・関西の成長」につながる道路・鉄道ネットワークの強化など、**戦略的なインフラマネジメント**を推進します。

■平成26年度当初予算

2,716 億円(特別会計含む)

《府民の安全・安心の確保》 1,161 億円

(1) 南海トラフ巨大地震をはじめとする防災減災対策の充実・強化	186 億円
・防潮堤液状化対策や三大水門の補強の緊急実施	
・下水道施設、緊急交通路の耐震化	
・避難地や防災活動拠点の整備	
(2) 集中豪雨や大型台風などの水害対策の充実・強化	317 億円
・地域住民と災害リスクを共有し「逃げる・凌ぐ・防ぐ」を推進	
・地下河川や下水道増補幹線など治水施設整備のスピードアップ	
・地先の危険度に基づく治水・土砂災害対策の推進	
(3) インフラ維持管理戦略の充実・強化	620 億円
・致命的な損傷や被害を防ぐ計画的な補修等	
・効率的・効果的な維持管理手法や仕組みの具体化	
その他、通学路等交通安全対策 等	37 億円

《大阪・関西の成長の実現》 782 億円

(4) 鉄道ネットワークの充実・強化	120 億円
・公共交通戦略に基づく戦略4路線の推進	
・おおさか東線の着実な事業推進	
・連続立体交差事業と周辺まちづくりの一体的推進	
(5) 広域道路ネットワークの充実・強化	421 億円
・都市の再生や、広域連携の強化、国土軸へのアクセス強化、防災機能強化 (大阪都市再生環状線道路、府県間道路など)	
・高速道路の新たな料金体系の構築	
(6) まちづくりの推進	155 億円
・箕面森町におけるまちづくりの推進	
その他、港湾機能の充実・強化 等	85 億円
・大阪湾諸港の一元化を目指した府市港湾の統合	

《地域協働》

(7) 笑顔OSAKAの推進
・府民や地域との協働や企業のCSR(社会貢献活動)との連携による、 新たなビジネスモデルの構築や地域の魅力づくり等の促進
・官民連携による「みどりの風を感じる大阪」の実現
・ホームページやブログ等による「見える化」、「担い手の育成」など

※その他(人件費等) 773 億円